

(記入例)

第 1 1 号様式 (第 1 5 条関係)

## 禁 止 行 為 解 除 承 認 申 請 書

① 年 月 日				
(宛先)				
②				
③ 申請者 住所				
氏名 <span style="float: right;">㊟</span>				
電話番号				
上尾市火災予防条例第 2 3 条第 1 項各号に掲げる場所で消防長が指定する場所における同項本文の規定による禁止行為について、同項ただし書の規定による解除の承認を受けたいので、申請します。				
防火対象物	所在地	④ 電話番号		
	名称	⑤	用途	⑥
	関係者住所	⑦		
	氏名	⑦		
指定場所	指定場所	⑧	指定月日	⑨
	階	⑩	階の用途	⑩
	名称	⑪	場所の用途	⑫
	構造	⑬	内部仕上	⑭
解除を受けようとする行為	種類	⑮ 喫煙・裸火の使用・危険物品の持込み		
	期間	⑯ 年 月 日から 年 月 日まで		
	理由	⑰		
	内容	⑱		
⑲ 行為者	住所			
	職業			
	氏名	(年令 歳) 男・女		
火災予防上講じた措置	⑳			
※ 受付	※ 経過			

備考

- 1 申請場所の平面図、詳細図、当該場所付近の概要図、設備に関する図書等を添付してください。
- 2 行為者が 2 人以上の場合は、その所属、氏名、年令、性別等を記載した書類を添付してください。
- 3 ※欄には、記入しないでください。

## (記入例)

- ① 申請書を提出する年月日を記入する。
- ② 宛先は、「上尾市消防長」と記入する。
- ③ 「申請者」欄は、禁止行為を行う指定場所を有する防火対象物（建物）の所有者・防火管理者等責任が明確な者の、住所、氏名、電話番号を記入し、押印する。  
余白に連絡先の電話番号を記入する。（法人の場合は、法人の住所、名称及び代表者の職・氏名・電話番号を記入し、押印する。）
- ④ 「所在地」欄は、禁止行為を行う指定場所を有する防火対象物（建物）の所在地及び電話番号を記入する。
- ⑤ 「名称」欄は、防火対象物（建物）の名称を記入する。【例】〇〇ビル
- ⑥ 「用途」欄は、防火対象物（建物）全体の用途を記入する。  
【例】劇場・ホテル・飲食店・スタジオ・展示場・百貨店・複合用途（用途が混在している建物）
- ⑦ 「関係者住所」及び「氏名」欄は、防火対象物（建物）の責任者（社長・店長等）の住所及び氏名を記入する。
- ⑧ 「指定場所」欄は、行為の対象となる場所を記入する。
- ⑨ 「指定月日」欄は、行為の対象となる場所を使用する開始日を記入する。
- ⑩ 「階」及び「階の用途」欄は、申請場所の階及び用途を記入する。
- ⑪ 「名称」欄は、防火対象物（建物）内のどこの場所であるか特定できる名称等を記入する。
- ⑫ 「場所の用途」欄は、申請場所の実態用途を記入する。  
【例】舞台、大道具室、売場、加工場
- ⑬ 「構造」欄は、申請する防火対象物（建物）の構造を記入する。  
【例】鉄筋コンクリート造・鉄骨造・木造
- ⑭ 「内部仕上」欄は、申請場所の内部仕上げを記入する。  
【例】不燃仕上・準不燃仕上
- ⑮ 「種類」欄は、解除承認を必要とする禁止行為の種類を○で囲む。
- ⑯ 「期間」欄は、解除承認を必要とする期間を記入する。恒常的な行為で期間のない場合は、開始日のみ記入する。

(記入例)

- ⑰ 「理由」欄は、解除承認を必要とする理由を具体的に記入する。  
【例】演劇の演出効果をあげる為・客に対するサービスの為
- ⑱ 「内容」欄は、行為内容を具体的に簡記する。内容が複雑なものは別紙等に記載する。
- ⑲ 「行為者」欄は、行為者の住所、職業、氏名を記入する。行為者が複数いる場合は、行為者の代表者を記入する。
- ⑳ 「火災予防上講じた措置」欄は、解除承認を受けようとする行為に対して火災予防上講じた内容を記入する。内容の多いものは、別紙等に記載する。  
【例】消火器（○型）○本を舞台両袖に配置する。